

資料 4

西東京市公民館運営審議会
令和5年度第1回定例会

令和4年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和5年5月17日

	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	柳沢	障害者学級 くるみ学級	令和4年4月9日から 令和5年3月12日 コアクラス 第2・第4土曜日 たんぼぼクラス 第2・第4日曜日 13時30分から15時30分 各クラス全20回	コアクラス 延べ294人 たんぼぼクラス 延べ318人	<ul style="list-style-type: none"> ・「自ら考え、選択し、行動する」ことができるように、話し合いや考え合う場を活動の中に多くとり入れ、学級生の意向や判断を尊重し、実現できるように支援を行った。 ・少人数のグループ活動を行うことによって、全体の中ではなかなか意見を言えない学級生が発言したり、また自分達がやりたいと思うことを計画し実現したりしていくなど、能動的、自主的な行動を促すことができた。 	【創作活動】 井上千恵美（臨床美術士） 進藤幸枝（臨床美術士） 【音楽活動】 田中陽子（ピアノ・リトミック講師）
2	柳沢	乳幼児をもつ母親のための講座 笑顔が生まれる、はじめてのママ講座 ～仲間との対話で自分育てから～	令和4年6月15日から 令和5年3月8日 水曜日 10時から11時45分 全19回	延べ128人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て中の仲間との話し合い中心の学習を重ねた。 ・「いのち」と性についての学びや色彩アートワークを行い、自分の感じ方と向き合う機会を設けた。 	藤田潮（国際コーチング連盟プロフェッショナルサーティファイドコーチ） 青木千景（いのちの語り部） 和泉搖子（絵画造形講師）
3	柳沢	中学生・高校生対象講座 K-POPをカッコよく踊ろう！	令和4年7月27日から 令和5年2月22日 水曜日 16時15分から18時15分 全19回	延べ193人	様々な学校、学年の中学生がダンスを通じて出会い、関係性を育みながら、個人のダンススキルはもとより、全員が協力してグループパフォーマンスを創りあげることができた。最終的に4曲のメドレー曲を完成させ、ヤギフェス及び児童館主催中学生・高校生年代イベントにて発表し、地域の中での交流も行った。	六反田菜都実（T.T彩たまオフィシャルダンサーチーム所属）

4	柳沢	ムービールーム柳沢	令和4年9月14日から 令和5年3月8日 水曜日 14時から 6回	延べ289人	多様なジャンルの映画作品を上映。世界情勢を鑑み、10月に「平和」を題材とした映画の上映を行い、参加者に改めて「平和」について考えてもらう機会を作った。	上映作品解説：嶋野寛章（日本映画大学卒業）
5	柳沢	イスに座って！ やぎさわディスコ	令和4年9月18日 12月18日 令和5年2月19日 日曜日 14時から15時20分 3回	延べ89人	障がいのある人もない人も、地域の誰もが一緒に集え地域の居場所として、イスに座って楽しめるディスコを開催した。この事業は、やぎさわディスコ実行委員会との共催により実施し、広く市民に公民館を知ってもらう機会となった。	
6	柳沢	家族対象講座 なりたいふたり（家族）になるためのコミュニケーション講座	令和5年1月29日 2月19日 日曜日 10時から12時 全2回	延べ13人	様々なシアターゲームを通して「伝わるまで伝える発信」と「相手の気持ちを受けとる」受信の仕方を学び、楽しみながらコミュニケーションの本質を振り返った。	奥田 満（劇作家、演出家） 奥田仁美（役者、ダンサー） 木村祐子（役者、照明家）
7	柳沢	【共催事業】 第17回人形劇フェスタin西東京 ※人形劇フェスタ実行委員会との共催	令和5年3月19日 日曜日 10時から16時30分 4回	人形劇鑑賞延べ186人 工作参加延べ98人	「西東京市に人形劇を根付かせたい、子ども達に人形劇の文化を届けたい」と活動する市民団体が実行委員会形式で企画・運営して開催。人形劇の他に学生運営の「工作のお部屋」を開き、家族連れや祖母と孫の参加で、多世代交流の場ともなった。	井上幸子（人形劇団プーク）
8	田無	障害者青年教室 あめんぼ青年教室	令和4年4月2日から12月11日 第1土曜日午後 第4日曜日午前午後 令和5年1月8日から3月26日 第2日曜日午後 第4日曜日午前午後 全38回	延べ520人	手話歌、朗読、ランタン作り、吹奏楽演奏鑑賞、二胡演奏鑑賞・体験、中国体操	下田みゆき（音楽） 山野邊千鶴子（朗読） 高島美希（創作ワークショップ）、 西原みどり（ウィンズパストラレー楽団） 下坂小百合（楊智二胡楽団・すばる） 小幡道代（中国体操・にしきの会）

9	田無	ギャラリー田無公民館	令和4年5月27日から 令和5年3月27日 ※1団体2カ月ずつ展示		外の通行者の目も引くアート作品を、 手作りのショーウィンドウに展示すること で、田無公民館の存在に気づいてもら い、アート作品を楽しみながら田無公民 館の中へも入って来られるような導線と している。	絵画2団体 写真2団体 あめんぼ青年教室
10	田無	第14回 田無公民館まつり	令和4年5月29日 日曜日 10時から16時20分	延べ333人	田無公民館を中心に活動しているサー クルの活動成果を発表する場、地域住民と 公民館利用者の交流の場を目的に開催。	参加団体16団体
11	田無	曜日別活動サークル1日ロビー 見学体験会	令和4年8月29日から令 和5年2月26日 10時から15時 7回	延べ446人	・会員募集中の田無公民館利用団体で、 開催日該当曜日に活動する団体が、田無 公民館ロビーにて活動報告や発表を行 い、興味ある市民が見学体験した。 ・団体打合せ・報告会を行い、実施の目 的、手順、団体の感想意見、見学者の声 等を全体で共有した。 ・参加団体同士の交流、職員と参加団体 との交流を図ることができた。	参加団体31団体
12	田無	女性のための講座（保育付き） 自分らしさを大切に楽しく子育て・自分育ち	令和4年10月18日から12 月20日 火曜日 10時から11時45分 全13回	延べ123人	・子どもの自立に繋がる子育て・自分育 ちについて考えた。 ・自分で選択することが、子どもの自 立・自律につながることを学んだ大人と 子どもの目線・視野の違いを体感し、子 ども格差について学んだ。 ・意識下の男尊女卑観・男女不平等の歴 史から、人権意識を持って生きることの 大切さについて学んだ。	堀内裕子（日本自閉症スペクト ラム額会特別支援士、傾聴心理 士） 堀内謙人 江刺昭子（神奈川県的女性史編 纂や県内女性史研究グループの 指導育成に尽力） 西村説子（NPO法人CAPセン ターJAPAN就学前プログラムト レーナー、NPO法人埼玉子ども を虐待から守る会理事）
13	田無	防災講座 避難所運営ノウハウをみんなで 共有しよう ～自分の命は自分で守り 助けられる人から 助ける人に～	令和4年11月12日 11月19日 11月26日 土曜日 14時から16時 全3回	延べ45人	防災の予備知識を学び、地域の特性を話 し合い、避難所運営協議会の方々の協力 を得ながら、地域課題の解決を図るもの とした。	岩永正雄（一般財団法人 防災教育推進協会理事）

14	田無	趣味の講座 第1弾 ウクライナのエッグアート 「ピサンキ」を作ろう	令和5年2月10日 2月17日 2月24日 14時から16時30分 金曜日 全3回	延べ38人	卵の殻を使った、ウクライナに伝わるろうけつ染め「ピサンキ」を作成	飯野夏実（ピサンキ作家、陶芸家）
15	田無	趣味の講座 第2弾 ウクライナ刺繍のピンクッションを作ろう	令和5年3月10日 3月17日 14時から16時30分 金曜日 全2回	延べ35人	ウクライナ刺繍図案のピンクッション作成	千葉 恵（刺繍・洋裁・パターンメイキング教室「まにあ〜な」講師）
16	田無	SDGsロビーフェスタ田無	令和5年3月12日 日曜日 10時～16時	延べ37人	・田無公民館ロビーにて、小学生、中学生、高校生、大学生、親子、大人たちが、SDGsの中の関心のあるテーマごとにテーブルを囲んで語りあった。フェスタ終了後、団体と繋がるケースがあった。 ・親子エコ花びん作り、SDGs落語、障害者学級あめんぼ青年教室の手話歌と中国体操を体験した。	アドバイザー：野嶋京登（浜松市富塚協働センター主任コミュニティ担当） エコ花瓶づくり講師：久藤啓子（MOA美術文化インストラクター） 下村篤史（壺家）
17	芝久保	子育て中の女性のための講座 （保育付き） 10年後の私、きらめいて～凛としてより自分らしく～	令和4年11月18日金曜日 令和4年11月22日から令和5年2月14日 火曜日 10時から11時45分 全12回	延べ86人	女性が、「仕事と家事・育児」などに対し不安や不満をいただくのは、根強い男女の役割分業やアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）に起因していることを学び、解決方法を模索し、両立できるさまざまな方法（ヒント）を得られる機会となった。 また、男性にも本音で家事や子育てについて話し合える場を提供し、お互いのコミュニケーションの大切さを再認識した。	松岡 年（NPO法人ウィメンズ・サポート・オフィス連理事） 油井文江（（一社）日本ダイバーシティ・マネジメント推進機構専務理事） 石川文子（NPO法人子ども家庭リソースセンター所属） 浜田有里恵（（株）キャリア・マムcocoプレイスインキュベーションマネジャー） 嶋津直之（パパ育コミュ代表） 堤 香苗（（株）キャリア・マム代表取締役）

18	芝久保	<p>【共催事業】 親子おたのしみ企画 ドキ土器考古学 ～縄文時代にタイムスリップ～</p> <p>※社会教育課との共催</p>	<p>令和5年2月19日 2月26日 日曜日 10時～12時 全2回</p>	延べ27人	<p>下野谷遺跡から出土した実物の縄文土器を見ながら講話を聴くことで、より理解を深めながら学んだ。縄文土器の形や文様を取り入れたオリジナル土器を作り、縄文人の技術や知恵を疑似体験したことで縄文人の知恵や現代の私たちとのつながりを親子で考える機会とした。</p>	亀田直美（社会教育課、学芸員）
19	谷戸	<p>中学生が企画！小学生向け防災教室 楽しく防災を学ぼう！</p>	<p>①令和4年10月29日 土曜日 13時30分から15時30分 ②11月26日 土曜日 10時から12時 ③令和5年1月15日 日曜日 10時から12時 3回</p>	延べ36人	<p>・中学生ボランティアが「小学生向け防災講座」の企画から主体的に関わり、防災を「自分ごと」として捉えることを学び合いながら、講座の企画・運営に取り組んだ。準備会を24回実施。</p> <p>・各回の内容 【第1回】たべもの編 【第2回】おうちのトイレ編 【第3回】地震が起きた時の行動編</p>	小野修平（ジョージ防災研究所代表）
20	谷戸	<p>くらしを彩る講習会</p>	<p>①令和5年1月31日 火曜日 ②2月21日 火曜日 ③3月17日 金曜日 10時から12時 3回</p>	延べ36人	<p>・コロナ禍でロビーから会議室に場所を移して、多様な世代が参加しやすく、日々の暮らしに彩りを持てる内容で「ものづくり」講習を実施。</p> <p>・各回の内容 【第1回】パステル&筆文字 【第2回】ハーバリウム 【第3回】布ネックレス</p>	<p>荒道恵美（一般社団法人伝筆協会認定講師、パステル和アートインストラクター） 南雲みさ（日本ハーバリウム協会認定講師） 東海敬子（手芸愛好家）</p>
21	谷戸	<p>コンサート 不思議な楽器の演奏会 ～中世ヨーロッパの愉快的な響き</p>	<p>令和5年2月26日 日曜日 14時から16時</p>	39人	<p>中世ルネサンスの古楽器の演奏と解説</p>	近藤治夫（中世音楽演奏家）

22	谷戸	子ども向け学習講座 カレー作りゲームで学ぶお金の基本のキ ～自分と地球にやさしいおこづかいの使い方とは～	令和5年3月25日 土曜日 ①14時から14時50分 ②15時10分から16時 2回	延べ14人	<ul style="list-style-type: none"> ・講師考案のカレー作りゲームを通して「お金には限りがあり、その中で何かを買ったら何かを買えなくなる」という事を学んだ。 ・おこづかい帳のつけ方を学んだ。 ・高学年向けには「エシカルバージョン」として環境保全や社会貢献についても触れた。 	あんびるえつこ（「子どものお金教育を考える会」代表、文部科学省消費者教育アドバイザー、生活経済ジャーナリスト）
23	保谷駅前	あつまれ！みんなのけいおん講座	令和4年7月18日から 令和5年3月19日 日曜日 14時から16時 全9回	延べ131人	<ul style="list-style-type: none"> ・中学1年生から高校2年生まで幅広い学年の生徒が集まり、ギター、キーボード、ドラムの各パートに分かれて練習、楽器の演奏を楽しんだ。 ・最終回は発表会とし、講座の仲間同士、達成感を共有することができた。 	太田光宏（音楽制作集団HEART NOTE PROJECT代表） 渡邊篤子（生涯学習音楽指導員） 山本雄一（ドラム講師）
24	保谷駅前	多文化共生講座 垣根のない明日のために	令和5年1月28日から 3月4日 土曜日 10時から12時 ※初回のみ10時から12時 30分 全5回	延べ67人	<ul style="list-style-type: none"> ・今現実に起きている外国人に対する人権侵害を切実な事例を通して学んだ。 ・日本で暮らす外国人支援の現状と課題を学び、地域で共に暮らす住民にできることは何かを学んだ。 	周香織（「クルド人難民Mさんを支援する会」代表） 鳥井一平（NPO法人「移住者と連帯する全国ネットワーク（移住連）」共同代表理事） カディザ・ベゴム（ロヒンギャ難民、ロヒンギャの子どもたちへの学習支援「オンライン学習支援教室」現地コーディネーター、東京市在住） 菅野冴花（「認定NPO法人シャプラニール＝市民による海外協力の会」国内事業担当）
25	保谷駅前	趣味講座 あなたの知らない川柳の世界	令和5年2月19日 3月5日 3月19日 日曜日 10時から12時 全3回	延べ25人	参加者が川柳を投稿し相互に講評する句会を行った。また、参加者から川柳の寄稿を募り、西東京市Web上の報告記事に含める形で作品発表の機会とした。	暮田真名（川柳作家）